

ダクトルフォーム

新素材

軌道

カルバート

ホーム

LRT

埋設型枠

擁壁

貯留・浸透

耐震補強

推進

横引き

地盤改良



特長

近年、環境負荷低減の観点からコンクリート構造物のライフサイクルコストの縮減がのぞまれています。このようなニーズに対応する為、超高強度繊維補強コンクリート「ダクトル」を使用した高耐久性薄肉埋設型枠「ダクトルフォーム」が開発されました。ダクトルフォームをコンクリート構造物に適用することで、構造物の長寿命化、維持管理費の縮減を実現することができます。

① 優れた施工性

薄肉化により運搬・組立が容易に行えます。また必要に応じて加工も可能です。

② 本体コンクリートとの一体性の確保

打設されたコンクリートと一体化し、鉄筋のかぶりとして考慮できるとともに、圧縮部材の有効断面として適用できます。

③ 高い強度

型枠材として、コンクリート打設時の側圧等の荷重に耐える充分な曲げ強度、剛性を有しています。

④ 高耐久性

塩害作用、凍結融解作用および摩耗作用が激しい環境下においても、コンクリート構造物に高耐久性を付与する埋設型枠として使用でき、耐久性上、鉄筋のかぶりとして考慮できます。

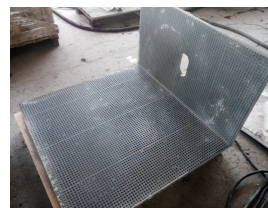
製品の種類



平板部材



曲面部材



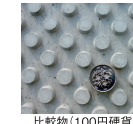
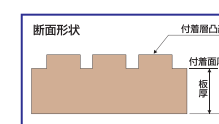
L型部材

ダクトルフォームの設計手法

● 許容曲げ応力度

試験方法	単位	ダクトルフォームFM
許容曲げ応力度	N/mm ²	15

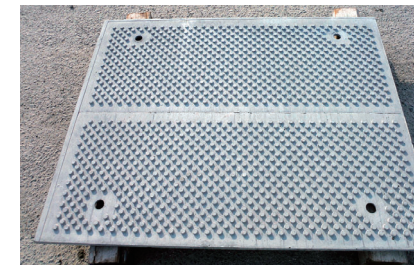
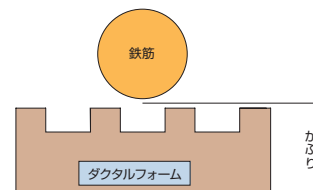
● Cタイプ



比較物(100円硬貨)

● かぶり

ダクトルフォームは、土木学会「コンクリート標準示方書」に規定される品質の確認された保護層とみなされます。



施工事例



新素材

軌道

カルバート

ホーム

LRT

埋設型枠

擁壁

貯留・浸透

耐震補強

推進

横引き

地盤改良